

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Mol Immunol 44(13):3364 - 3379 (2007年7月)	Phosphorylation of IRF8 in a pre-associated complex with Spi-1/PU.1 and non-phosphorylated Stat1 is critical for LPS induction of the IL1B gene.	Tsukada, J.	化学療法センター・血液科
臨放射 52(13):1769 - 1775 (2007年12月)	悪性リンパ腫の治療 最近の進歩	塚田 順一	化学療法センター・血液科
癌と化学療法 34(13):2259 - 2262 (2007年12月)	外来癌化学療法のリスクアセスメント	浦本 秀隆	化学療法センター・血液科
Psychother Psychosom 76(3):177 - 185 (2007年4月)	Low Control at Work and the Risk of Suicide in Japanese Men:A Prospective Cohort Study.	Tsutsumi, A.	産業医実務研修センター
BMC Oral Health 7(3) (2007年4月)	Types of psychosocial job demands and adverse events due to dental mismanagement:a cross sectional study.	Tsutsumi, A.	産業医実務研修センター
地方公務員安全と健康 フォーラム 63 :17 - 19 (2007年4月)	過重労働による健康障害防止対策の進め方	森 晃爾	産業医実務研修センター
産業医学レビュー 20(1):29 - 44 (2007年5月)	派遣労働者の労働衛生管理の現状と課題	中本 真理	産業医実務研修センター
健康開発 11(3):44 - 50 (2007年5月)	厚生労働科学研究労働安全衛生総合研究事業発表会 労働安全衛生マネジメントシステムでの労働衛生上のリスク対策に必要なアセスメントツール等の開発	森 晃爾	産業医実務研修センター
保健医療科 56(2):76 - 82 (2007年6月)	職業階層と健康の格差：職業性ストレスの役割	堤 明純	産業医実務研修センター
ストレス科学 22(1):31 - 37 (2007年7月)	職業階層と職業性ストレス、健康	堤 明純	産業医実務研修センター

10件

340件

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
産業精保健 15(3):136 - 139 (2007年9月)	科学的根拠にもとづく産業精神保健 職場のメンタルヘルス対策への管理監督者 教育の効果	堤 明純	産業医実務研修 センター
産業医学プラザ 14 :45 - 56 (2007年10月)	産業医実践講座 産業保健活動の5管理 総括管理	森 晃爾	産業医実務研修 センター
心療内科 11(6):404 - 415 (2007年11月)	職場のストレスチェック	堤 明純	産業医実務研修 センター
日本精神科病院協会雑誌 26(11):6 - 9 (2007年11月)	職場復帰支援と産業医	森 晃爾	産業医実務研修 センター
第38回日本看護学会 論文集看護総合 409 - 411 (2007年12月)	低床ベッドでの清拭動作時に作業姿勢が下 肢・腰部に与える影響	平澤 和子	看護部
ITヘルスケア誌 2(2):66 - 79 (2008年2月)	独立成分分析を利用したVDT入力作業時の 疲労の評価	八谷 百合子	健康管理センタ ー
電気学会論文誌 C 128(1):45 - 54 (2008年1月)	VDT入力作業における疲労評価のための生 体情報収集	八谷 百合子	健康管理センタ ー
産業保健人間工学研究 19(1):7-13 (2008年1月)	軽いTime Pressureを与えたVDT入力作業 時の疲労の評価	八谷 百合子	健康管理センタ ー
日本高気圧環境・潜水 医学会雑誌 42(2):93 - 100 (2007年11月)	産業医科大学病院における高気圧治療部門 電子カルテの導入と有用性	Kinoshita, Y.	病院医療情報部
Pancreas 35(4):e23 - e29 (2007年11月)	Preferential Increase of Extracellular Matrix Expression Relative to Transforming Growth Factor $\beta$ 1 in the Pancreas During the Early Stage of Acute Hemorrhagic Pancreatitis in Rats.	Nakamura, H.	進路指導部

10件  
350件

## 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

(平成 20 年 10 月 1 日現在)

管理責任者氏名	病 院 長 中村 利孝
管理担当者氏名	医療情報部長 舟谷 文男、放射線部長 興梠 征典 看護部長 奥川 満子、薬剤部長 高橋 浩二郎 病院管理課長 谷口 眞規、医事課長 辻塚 勲

		保 管 場 所	分 類 方 法	
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約および入院診療計画書		病 歴 室 薬 剤 部 放 射 線 部 看 護 部 各診療科外来 病院管理課	電子カルテ以前の手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、入院中の診療経過の要約及び電子カルテ以降の入院・外来ファイルに添付の諸記録は病歴室で保管。(但し外来診療録及びファイルに添付の諸記録は、最終診療日から3ヶ月以内の物については、各診療科外来で保管) 最終撮影日から1年以内のエックス線写真は放射線部で保管。 処方せんは薬剤部で保管。 各科診療日誌は看護部で保管。 病院日誌は病院管理課で保管。	
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	病 院 管 理 課		
	高度の医療の提供の実績	病 院 管 理 課		
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	病 院 管 理 課		
	高度の医療の研修の実績	病 院 管 理 課		
	閲覧実績	病 院 管 理 課		
	紹介患者に対する医療提供の実績	医 事 課		
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医 事 課 及 び 薬 剤 部		
	規則第9条の23及び第1条の11各号に掲げる体制	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	医療安全管理部及び病院業務課	
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	医療安全管理部及び病院業務課	
		医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	医療安全管理部及び病院業務課	
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医 事 課	
		医療に係る安全管理のための指針の整理状況	医療安全管理部及び病院業務課	
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全管理部及び病院業務課	
医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況		医療安全管理部及び病院業務課		
医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全管理部及び病院業務課			

		保管場所	分類	方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第1条の11各号に掲げる体制確保の状況	院内感染のための指針の策定状況	感染制御部及び病院業務課	
		院内感染対策のための委員会の開催状況	感染制御部及び病院業務課	
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染制御部及び病院業務課	
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染制御部及び病院業務課	
		医薬品の使用に係る安全管理のための責任者の配置状況	医療安全管理部、薬剤部及び病院業務課	
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	医療安全管理部、薬剤部及び病院業務課	
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	医療安全管理部、薬剤部及び病院業務課	
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療安全管理部、薬剤部及び病院業務課	
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	医療安全管理部、臨床工学部及び病院業務課	
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	医療安全管理部、臨床工学部及び病院業務課	
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	医療安全管理部、臨床工学部及び病院業務課	
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療安全管理部、臨床工学部及び病院業務課			

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第 13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

(平成 20 年 10 月 1 日現在)

閲覧責任者氏名	病院事務部長 西岡隼人
閲覧担当者氏名	病院管理課長 谷口真規, 病院管理課長代理 田中和寿
閲覧の求めに応じる場所	応接室兼診療情報等閲覧室

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績 (平成 19 年度分)

前年度の総閲覧件数	延 0 件	
閲覧者別	医師	延 0 件
	歯科医師	延 0 件
	国	延 0 件
	地方公共団体	延 0 件

○紹介患者に対する医療提供の実績

(平成 19 年度分)

紹介率	76.7%	算定期間	平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日
算出根拠	A: 紹介患者の数	13,144 人	
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数	9,080 人	
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数	2,138 人	
	D: 初診の患者の数	22,647 人	

(注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をB、Dの和で除した数に 100 を乗じて小数点以下第 1 位まで記入すること。

2 A、B、C、Dは、それぞれ延数を記入すること。

(様式第13-2)

規則第9条の23及び第11条各号に掲げる体制の確保状況

① 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有(1名)・無
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有(1名)・無
③ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有・無
・ 所属職員： 医療安全管理部 専任(1名) 兼任(3名) (専任：医療安全管理者(1名)、兼任：部長(1名)、医薬品安全管理責任者(1名)、 医療機器安全管理責任者(1名)) 感染制御部 (専任：病院感染対策者(1名)、兼任：部長(1名)、感染制御医師(1名)、 感染制御担当職員(4名)) ※ 医療安全対策にかかる事務部署：病院事務部病院業務課(4名)	
・ 活動の主な内容： ① インシデント・アクシデントについての情報収集・分析・評価 ② 医療事故防止及び感染防止のための研修・教育 ③ 医療事故や病院感染発生の原因究明が適切に実施されていることの確認及び指導 ④ 医療事故及び病院感染を防止するための情報収集、分析、対策立案、フィードバック 及び評価を行うこと ⑤ 医療安全対策の推進にかかること、連絡調整に関すること	
④ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	有・無
⑤ 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
・ 指針の主な内容： 安全管理に関する基本的考え方 安全管理のための委員会に関する基本的事項等	
⑥ 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 43回
医療安全対策委員会(5回)、医療事故防止委員会(12回)、病院感染防止委員会(17回)	
・ 活動の主な内容： ① 医療安全対策の検討及び研究 ② 医療事故並びに病院感染の分析及び再発防止策の検討に関すること ③ 医療事故防止並びに病院感染防止のための啓発、教育及び広報に関すること	
⑦ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年39回
・ 研修の主な内容： 業務から起こりうる事故や感染を知り、事故及び感染防止対策が実践できること 安全に対する意識の向上(別添)	

⑧ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況

- ・ 医療機関内における事故報告等の整備 (有)・無)
- ・ その他の改善のための方策の主な内容：

平成19年度

- ① 肺血栓塞栓症/深部静脈血栓症予防のマニュアル作成
- ② 末梢静脈輸液ルート生食ロック用のプレフィルドシリンジの導入
- ③ ICシステムのテンプレートの内容変更
- ④ 輸血拒否患者への対応指針作成
- ⑤ ポケット医療安全マニュアルの改訂 (第2版)
- ⑥ 医薬品業務手順書の作成
- ⑦ 医療機器業務手順書、平成19年度医療機器保守点検計画書の作成
- ⑧ 本院における転倒DVD作成
- ⑨ 骨折軽減用具の導入
- ⑩ 抗菌薬投与に関するアナフィラキシー対策の作成
- ⑪ 救急カート標準化の改定
- ⑫ 一般病棟における人工呼吸器関連事故防止対策
- ⑬ インスリンの希釈標準化
- ⑭ 重大な指針等の確認方法

平成20年度

- ① 平成20年度医療機器保守点検計画書の作成
- ② 死亡事故 (レベル5) 発生時の連絡体制
- ③ アレルギー確認のためのリストバンドの表示
- ④ ポケット医療安全マニュアルの改訂 (第3版)
- ⑤ 医薬品業務手順書の一部改定 (第2版)